

事業所名		カラフル・金沢もりの里校				支援プログラム		作成日		2025年	2月	1日
法人（事業所）理念		利用児童が日常生活能力向上における基本的動作及び知識技能を習得し、並びに集団生活及び社会生活に適応することができるよう、利用児童の身体及び精神の状況並びにその置かれている環境に応じて、適切かつ効果的な指導訓練を行うことを目的とする。										
支援方針		利用される方お一人お一人を尊重する精神を貫き、利用される方が心身ともに健やかに生活され、また、その能力と特性に応じて利用される方お一人お一人の目指す日常生活、また、社会生活を営むことのできるよう支援します。そのために支援の多様化を図り、より深い支援内容によるサービスの提供をおこないます。										
営業時間		平日	9時	30分から	17時	30分まで	送迎実施の有無	行き	あり		帰り	なし
		学休日	9時	00分から	17時	00分まで						
支 援 内 容												
本人支援	健康・生活	子どもたちが健康的な生活習慣を確立し、安全・安心な環境で過ごせるように支援します。 【活動・支援内容】 ・ 基本的な生活スキルの獲得のために、自分で身支度や更衣、物の管理、手洗い、食事マナー、排泄等ができるようにします。 ・ 時間や空間がお子さんにわかりやすいように視覚支援等により環境を整えます。 ・ 継続的に体を動かすことで、体力の向上を図ります。 ・ 施設利用の際の約束・決まり、挨拶、着替えの際の注意事項等を適宜伝え、定着していけるようにサポートします。 ・ 車の安全な乗り方や乗るマナー、姿勢、ルールを身に付けます。										
	運動・感覚	運動を通じて基礎体力や身体の使い方を学び、感覚統合を促進します。 【活動・支援内容】 ・ さまざまな運動プログラムや遊びを通して、本人が適正な運動動作を身に付けていけるようにします。 ・ お子さまの運動機能や感覚の感じ方（敏感・鈍感）に合わせて、課題を設定します。 ・ 継続的に体を動かすことで運動機能の向上を図ります。 ・ 力や声の大きさ、疲れなどの調整を促します。 ・ さまざまな感覚統合を行うための運動や遊びを理学療法士が計画します。 ・ 好ましい姿勢や道具の扱い方を身に付けます。										
	認知・行動	考える力や適切な行動を促し、自己コントロール能力を育てます。 【活動・支援内容】 ・ 本人のやる気に寄り添い、課題に取り組む中で、できたことを都度確認し、褒めたり、励ましたりし、本人が自信をつけていけるように支援します。 ・ 空間や時間等の概念の形成を図ったり、視覚支援を活用したりすることで、見通しを持った自主的な行動につなげます。 ・ 自分の得意なことや苦手なことなどを知り、自己理解をしていくことを促します。 ・ 自分の気持ちや行動に気づいて調整しようとするなど適切な行動への対応の支援を行います。 ・ 集団プログラムで、一斉の指示を聞きながら様々な年齢の児童や職員との関わりをサポートします。										
	言語コミュニケーション	伝える力・聞く力を伸ばし、円滑なコミュニケーションを促します。 【活動・支援内容】 ・ 社会性やコミュニケーションスキルを身につけているより他の児童との仲立ちや、具体的な適切なやりとりの提示等、必要に応じサポートします。 ・ 自分の思いや要求の相手への伝え方など場面や相手の状況に応じた適切なやりとりを促します。 ・ 理解や特性に合わせた宿題等の支援を行います。 ・ 集団プログラムで、一斉の指示を聞きながら様々な年齢の児童や職員との関わりをサポートします。 ・ 言葉でコミュニケーションが取れるようサポートします。 ・ 非言語（身振り、指さし、サイン、ジェスチャー）や言語（2語文、3語文など）でコミュニケーションが取れるようにサポートします。 ・ 自己紹介や振り返りでの人前の発表、プログラムにおける場面設定、プログラム前の他児童との関わりの中で声かけやロールプレイングを提示します。										
	人間関係 社会性	集団生活の中で対人スキルを学び、社会に適応できる力を育てます。 【活動・支援内容】 ・ 施設利用の際の約束、決まり・挨拶、着替えの際の注意事項等適宜伝え、定着していけるようサポートします。 ・ 役割やルールなどに応じて友達との協同・運動プログラムへの取り組みややりとりを通して、適切な人間関係の形成を促します。 ・ 他者の気持ちや意図を理解したり、適切な行動をしたりするなど、社会に適応するために必要なソーシャルスキルの獲得を支援します。 ・ 自分の感情や気持ちなどに関心を持ち、情緒の安定を図ります。 ・ 勝敗のある運動プログラムの設定、友達とのやりとりや交渉、好ましい行動などの事前予告、気持ちのコントロール、行動を認めて褒めて自尊心を高めます。										
家族支援	<ul style="list-style-type: none"> ・ お子さまの発達状況を相互に理解し合えるよう、保護者様のお迎え時に情報交換を実施します。 ・ お子さんの特性を踏まえた関わりなどについて相談援助を行います。 ・ ご家族からお子さんのご家庭での様子や心配などについてお話を伺い、環境づくりや関わり方の工夫をともに考え実行します。 ・ プログラム内容の意図や成果について保護者様と共通理解し、事業所、ご家庭と共同してお子様へのサポートや声かけをしていきます。 ・ 保護者様、ご家族のレスパイト、就労確保の預りニーズに対応し、必要に応じて延長支援を実施します。 ・ ご家族（きょうだいを含む）で参加できる行事を実施します。 					移行支援		<ul style="list-style-type: none"> ・ 保護者・相談支援専門員を介し各関係機関と連携し、支援経過、支援方法等に関する情報共有します。 ・ 習得した行動を園や学校、家庭などで同様の行動ができるように、本人の発達段階や障害特性の共通理解を図り、保護者、相談支援専門員、各関係機関との連携を図ります。 ・ 園から小学校等への移行をスムーズに行えるよう、本人へのサポートを保護者と連携しながら行う。 				
地域支援・地域連携	<ul style="list-style-type: none"> ・ 地域の児童発達支援センターと連携し、専門的な知識や支援方法に関する情報交換を行います。児童発達支援センターによる研修を受け、職員の専門性向上に努めます。 ・ 災害発生時には、お子様の安全を確保し、可能な限りサービスを継続できるように、事業継続計画（BCP）の策定と見直しを定期的に行い、災害時には、地域の拠点となりうるよう、地域貢献に努めます。 					職員の質の向上		<ul style="list-style-type: none"> ・ 年間研修計画に基づき、計画的かつ定期的に全職員および職層別の研修を実施します。 ・ 【社内研修】・ Well-being研修・ チームビルディング研修・ 発達特性について・ リーダー研修・ PDCA研修・ 新入社員研修会 ・ 【義務化研修】・ 虐待防止（身体拘束）に関する研修・ 感染症に関する研修 ・ 【BCPに関する研修等】 ・ 【社外研修】・ 児童発達管理責任者（基礎研修、実践研修、更新研修）・ 発達支援の段階とつながり・ 虐待防止研修 ※適宜受講します。 				
主な行事等	<ul style="list-style-type: none"> ・ 年間を通して、子どもたちが楽しみながら成長できるイベントを計画し、思い出に残る経験を提供します。 ・ 外出プログラム（街探検、お出かけプログラムなど） ・ 季節に関するプログラム（初詣、餅つき、夏祭り、ハロウィンイベント、クリスマス会など） ・ 工作に関するプログラム（木工、パラシュート作り、水鉄砲作り、スライム作り、アークサード作りなど） ・ 生活に関するイベント（たこ焼きパーティー、かき氷作り、おにぎり作り、デザート作りなど） ・ 得意を発表するイベント（おともだちが先生） ・ 運動に関するイベント（運動会） ・ 防災に関するイベント（防災訓練、防災教室） 											